

『成瀬ダム建設工事現場・増田蔵の町』

・令和3年9月15日(水)

・参加者 19名

秋経協・二水会の企業視察企画、今年度は秋田県内において進められている自然エネルギーによる発電開発に着目し、平成9年4月に建設工事が着手、平成30年9月からダム本体工事が着工し、令和9年度中の完成を目指している成瀬ダム(形式台形 CSG ダム)の工事状況視察と「商人の町」として栄え、明治、大正、昭和の建物が多く残り、その多くは鞘で覆われた「内蔵」を有し国選定、重要伝統的建物群保存地区に指定されている増田町(横手市)の見学、散策。晴天に恵まれ、秋を感じながらの1日となった。



展望台より 成瀬ダム堤体打設工事・設備の様子

- ・ 展望台にて、成瀬ダム工事事務所建設専門官より概要について説明を受け、そのスケールに驚く。



ゲートが開けられ、
いよいよ現場へ!!



工事現場内にある「KAJIMA DX LABO」にて体感・学習



タブレット端末を使い、ジオラマやパネルの AR で完成成瀬ダムを体験



黒の線が、完成時のダムの堤の高さ



・現場内の大型車両の一部は無人走行

・黄色の線は完成時のダム堤(台形 CSG ダム)

企業視察続いては、

増田の内蔵と町並み

昼食はそば処「はやし」の
人気メニュー かき揚げ十割そば





- 最先端の技術で工事が進む成瀬ダムの工事現場見学と明治・大正・昭和に亘り商人の町として栄えた増田の内蔵のある建物群の視察を行いました。

『新を知り、故きを温ねる』例会となりました。

コロナ禍によりこれまでの企業視察と違った企画でしたが、爽やかな天候に恵まれ、多くのご参加をいただきました。感謝いたします。

次回もまた、会員各位からご意見をいただき、有意義な企業視察を企画いたします。よろしくお願いいたします。



今回の企画は、羽後交通様のご協力をいただきました。